

取引先における環境への取り組み

東京エレクトロングループでは、取引先との協力と連携を通して、製品における環境負荷の低減を推進しています。

このページでは、当社グループの取引先2社における環境負荷低減の取り組み状況を紹介します。

取引先企業での取り組み ～株式会社フジキン～

株式会社フジキン様と当社グループの取引状況

株式会社フジキン様とフジキングループ様(以下フジキン)は、昭和5年の創業以来、ながれ(流体)制御機器(バルブ機器)のトップメーカーです。フジキンでつくられたバルブ機器類は宇宙機器、海洋開発、化学コンビナート、原子力発電所など、さまざまな分野で使用されています。また、4年連続で「モノづくり部品大賞」を受賞するなど高い技術が評価されています。当社グループとは、バルブ機器類・フローコントローラおよび継



半導体用精密バルブ*

手における取引があります。当社グループ製造拠点やお客様先周辺にサービス拠点を設置し、手厚いサポート体制も構築されています。

環境管理体制

フジキンでは環境理念『地球に美しく、人に優しく、機(器)物に愛しく、仕事に厳しく、自分に激しく、人生に豊しく。』を掲げ、事業活動を進めています。環境側面での活動については、本社を中心に各事業所に環境保安安全委員会を設置し、全社横断的な取り組みを展開しています。また、筑波フジキン研究工場では、2002年9月にISO14001認証を取得しました。環境社会検定試験(eco検定)や高圧ガス製造保安責任者などの公的・公認資格の取得推奨制度などもあります。

環境への取り組み

フジキンではさまざまな環境活動が行われていますが、その一部を紹介します。

①1.125"IGS(Integrated Gas System)の開発

現在、半導体/FPD製造装置向けの高圧ガスユニットはIGSが主であり、従来のガスパネルユニットと比較すると軽量・小型化が進んでいますが、さらなる小型化として、1.125"IGSを開発しました。



1.5"IGSと1.125"IGSの比較写真

従来型である1.5"IGSと比較すると、設置面積、重量を約30%削減できます。また、フジキン製のFCS-P(Flow Control System-P)を採用することにより、さらなる削減を行うことができます。



フジキン製FCS-P

②事業活動における取り組み

電力や廃棄物の削減目標を定めて活動しています。省エネルギー化においては、クリーンルームで使用するFFU(ファンフィルターユニット)のモーターを省エネタイプのものに変換することにより、従来の20%程度の使用量まで低減することができました。また、作業場所の集約や省スペース化による省エネルギー化や効率向上にも取り組んでいます。さらに、納入品の化粧箱を廃止するなど、省資源への配慮も行い、環境負荷低減を進めています。

③チョウザメ養殖

フジキンでは、バイオテクノロジー産業への参入の一環として、1989年から絶滅が危惧されているチョウザメの養殖に取り組んでいます。1992年には、民間企業で初の人口孵化に成功し、その後完全養殖事業化し、そして現在ではチョウザメの卵であるキャビアを販売するに至っています。また、チョウ



フジキンで養殖しているチョウザメ

ザメの養殖研究施設には800トンほどの水が必要ですが、養殖研究施設の水を循環させることで再利用しています。



ながれのあるところすべてにフジキンの技術があります

株式会社 フジキン
筑波フジキン研究工場
実践環境保安安全委員会 委員長

土屋 慶弘 様

弊社の製品は、製造時に最もエネルギーを使っています。生産時におけるクリーンルームの単位面積あたりの生産性向上を大きな課題として捉え、生産性の向上を通じてお客様にご満足いただけるよう、高品質、低価格、短納期、そして環境配慮に努めています。

取引先企業での取り組み ～株式会社ニューテック～

株式会社ニューテック様と当社グループの取引状況

株式会社ニューテック様(以下、ニューテック)と当社グループは、ニューテックが昭和51年に創業したときから取引関係にあります。ニューテックは、山梨県甲斐市に本社工場を置き、当社グループの山梨事業所で製造するエッチングシステム、枚葉成膜システム、テストシステム、FPDプラズマエッチング/アッシング装置のハーネス、ボード、ユニットなどのAssy品*において取引があります。ニューテックでは、これらのパーツ調達、製造、検査を行っています。



ニューテックの作業現場

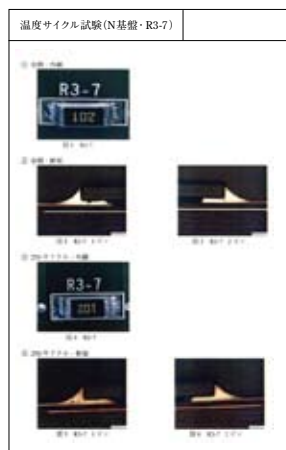
*Assy：アッセンブリーの略称。部品単体だけでなく、複数のを組み合わせた構成部品を指す。

RoHS指令への対応について

RoHS指令への対応については、約3,500点のパーツ類について2006年後半からAssy単位で、グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)のチェックリストを用いた確認を行いました。確認の過程で、取引先からのデータを入手できないものについては、当社グループの分析装置を使用し確認を行うなどの対応を進めました。RoHS指令対応を進める上での鉛フリー化は、1,000サイクルの信頼性試験評価を県の工業技術センターなど、外部の協力を得て行ったり、鉛フリー化技術に関する特許の確認も行われました。これらの対応として、一部設備導入も行われ、選任の担当者を置いています。

2008年6月現在、RoHS指令対応の調査残はほぼない状況となっています。在庫の識別には、黄色いラベルを貼り、エリアを分けて保管しています。

RoHS対応部品専用の棚



温度サイクル試験

再利用するケーブルのキャップ



環境への取り組み

オゾン層に悪影響をおよぼすフロン対策として、洗浄機を入れ替えるなどの対応を行っています。社内の改善提案制度によりケーブルに付属するキャップや梱包用のビニール袋を次工程取引先と協力しながら再利用し、省資源化を進め、また、時間ごとの電力の使用量を計測してエアコンの設定温度をこまめに調整するなどの配慮を行っています。さらに、会社周辺の清掃を行ったり、災害援助のための募金を行い、被災地へ寄付をするなどの活動も活発に行っています。

品質向上への取り組み

品質目標として「不適合品 社外流出0件」を設定し、2007年度は当社グループのエッチングシステム向け製品で達成しました。これは、組立や検査で使用する治具*化を推進し、QC(品質管理)工程表を用いての部品の検査や評価を徹底的に行ったことによります。また、作業従事者への電子回路接続技能士や職業訓練指導員といった国家技能検定取得を推進しており、作業従事者のほとんどがこれらの資格を取得しています。さらに、作業従事者の健康状態が品質につながるとも考え、健康診断の受診を確実に実施するなどのケアも行っています。

このような取り組みによる高い品質が評価され、当社グループより表彰をされています。



ケーブルの検査

*治具：工具などの作業位置を指示・誘導するために用いる器具



小回りが利き、機動性が高いのが当社の特徴です

株式会社ニューテック
代表取締役社長
平賀 義洋 様

30年以上、東京エレクトロングループ様とお付き合いさせていただいており、今後も環境、品質、コスト、納期などの要求事項に応えられるよう努力します。また、山梨事業所だけではなく、宮城新工場においても協力できるよう、体制を整えて参ります。